

12. 階段

1) 先行作業のチェック

階段は、他の部分にくらべて面積当たりの工程数が多く、作業員の通路でもあるので、型枠を解体した後、出来るだけ早く墨出しを行い左官用の足場をかける。

階段に手摺金物、石または金属の巾木、ボーダーその他がある場合は、左官着手の前に取付けておき、かつ養生しておく必要

- (1) 階段足場の確認
- (2) 取付物などの確認
- (3) 窓がないか、少ないこと
- (4) 階段は上下の通路になる

をする。

で清掃は十分に行う。

2) 墨出し

階段は、室内・外に比べて面積もある、狭い場所も多く、上下階の通路で行う。図 - 1 に階段墨の出し方の例を示す。

- (1) 下階床仕上げ 1m 上がり陸
- (2) 踊り場床仕上げ 1m 上がり
- (3) 下階階段室の寸法から階段
- (4) 踊り場の寸法（踊り場壁仕
- (5) 下階、踊り場の段鼻逃げ墨をそれぞれ
- (6) 陸墨を階段幅に等分し、墨
- (7) この接点から水平、垂直に
- (8) 垂直墨から蹴込みの寸法を
- (9) A は、下階階段第 1 段目の
- B は、踊り場から第 1 段目の
- C は、下階床仕上げと階段第
- D は、踊り場床仕上げ高さ

墨を出す。

段第 1 段目の段鼻の逃げ墨を出す。

陸墨から計算した、第 1 段目の段鼻のそ

の接点が階段段鼻の逃げ墨の点である。

により決める。

により決める。

る。

<https://www.sekouya.com>

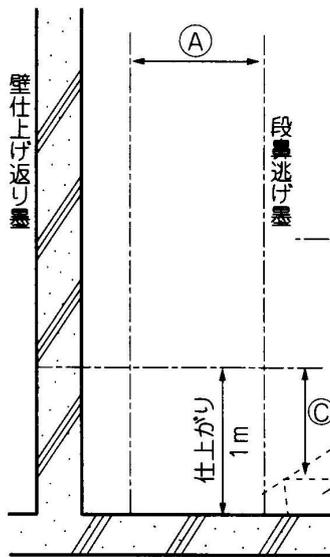


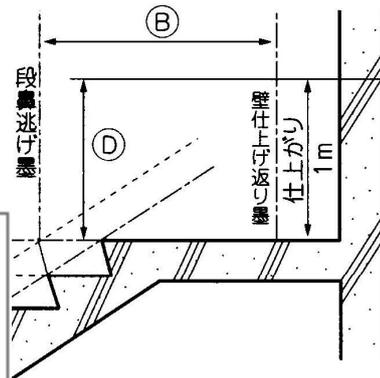
図 - 1

3) 先付け金物など

階段に金属製の手すり、手すり金物などは左官工事着工前に完了して

4) 階段仕上げの留意事項

- (1) 階段足場を架けてもらう。
- (2) 取付け物を確認する(金物)
- (3) 照明の準備をする(施工中)
- (4) 階段は上下階の通路となる水洗いを十分に行う。
- (5) 階段のアゲ裏の仕上げに注意する。
- (6) 滑り止め(ノンスリップ) 滑り止めの取り付け方法を「仕上げ時に滑り止め脚部分にも埋め込む。



寸法

、石、テラゾなどの取付け物のある場合

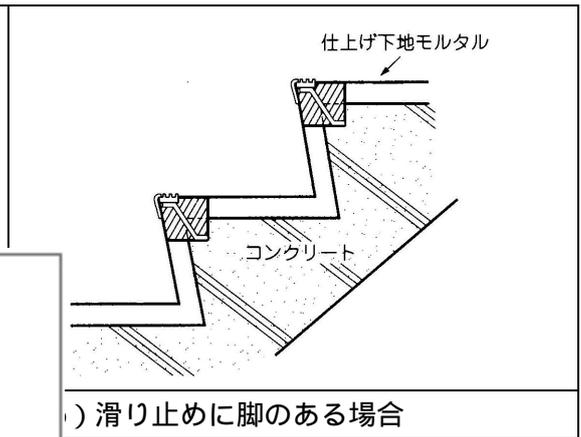
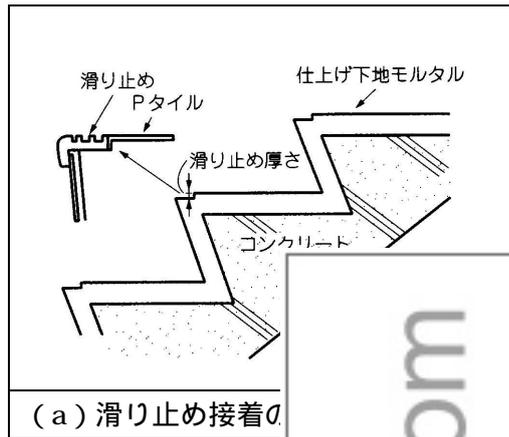
る。

床とも汚れがはなはだしいので、清掃、を考慮してできれば薄塗り仕上げ程度と

法を考慮した仕上げをする。

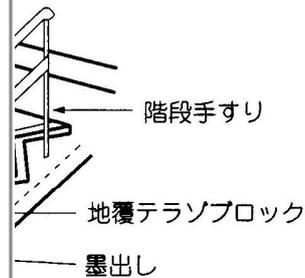
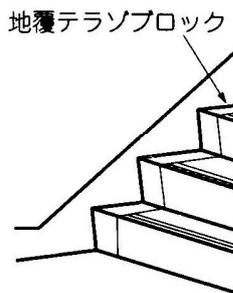
脚のある場合(図b)は、階段モルタル階段モルタル硬化後、滑り止めを脚とと

<https://www.sekouya.com>



(7) 役物（段型、笠木、地覆など）を
 込む。

定木を作り、墨にならって取付け、塗り



滑り止め
 面、け上げ面
 Pタイル張り

5) 施工手順

a. 前工事

- (1) 仕上げ墨出しの確認
 - 陸墨（階段室、踊り場）
 - 階段室壁返り墨
 - 階段段墨
 - 階段手すりアンカー埋込
- (2) 手すり金物の取付け
- (3) コンクリート下地面の点検と清掃
 - コンクリートのこぼれ、ノロ等の除去
 - モルタル塗りしろの点検 20 mm ~ 25 mm
 - 刷毛および掃除機で入念に行う。
- (4) 幅木の取付け（テラゾブロック）
 - 壁仕上げ面と幅木“ちり”に注意する。

<https://www.sekouya.com>

幅木建入れに注意する。

(5) 地覆の取付け (テラゾブロック)

壁付き幅木に仕上げ段型の墨を出す。

反対側は段型に合板で型板を作り、仕上げ墨に合わせて仮付けをする。

壁付きの墨と反対側の型板との間に水系を張り、段鼻の位置を決める。

幅の出入は水系を張り、段鼻を中心に位置を決め、据え付ける。

b . 接着材の塗布

3 倍液を使用する

刷毛でコンクリート面に

c . 下擦り

(1) 墨を見ながら、接着剤塗

に下こすりをする。

(2) 墨に沿って仕上代を残し

を設ける。

材料を擦りこむように塗

塗り厚は、5 mm ~ 7 mm

材料は 1 : 2.5 モルタル

d . ノンスリップ金物取付け

取り付けには、マイルド

ノンスリップ金物に足

部分をモルタル等で堅固に取付け、硬化

後に踏み面、蹴上げなど

滑り止めタイルの場合に

工後に剥がれ等の故障が出るため十分に

注意する。

ノンスリップ金物接着

して仕上げする。

地覆の段鼻にならって

滑り止めがアンカー止めの場合)

e . 踏面、け上げの中塗り

1 : 3 モルタルを使用し

櫛目を入れる

f . 仕上げ塗り

踏面を仕上げる

蹴込みを仕上げる

モルタルは、1 : 3 モル

地覆にならって仕上げ

ウムなどの厚み) を残して仕上げる。

滑り止めが後付けの場合は、滑り止めの厚みを逃げる。

g . 壁、階段の小面の仕上げ

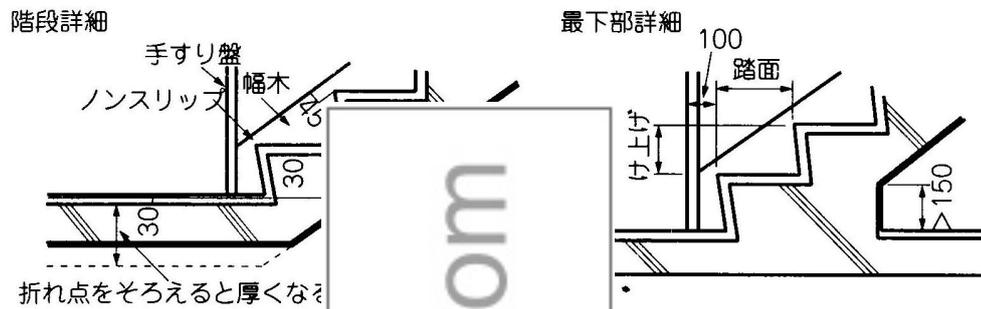
(1) 壁仕上げは仕上げ墨にならい、特に幅木のちり寸法に注意する。

(2) 階段小面は、階段手すりアンカー金物などがあり、また塗り面積もごく小さい場合が多い。塗りしろも多い場合があるので“どか付け”は後に、ひび割れ発生、はく離の原因ともなるため、数回に分け、付け送りをし、仕上げる。

<https://www.sekouya.com>

(3) 目地、測り物のちりの見付け、見出しをチェックする。

(4) 階段室は特に目線によるゆがみがわかりやすいため、垂直、水平の精度に心掛ける。



6) 段裏の仕上げは、後日の剥落を防止するため、塗り工法とする。

7) 階段の養生

- ・仕上げ後3日間は、通行禁止
- ・適当な大きさに加工した薄板

<https://www.sekouya.com>